「評価シート2020」（例示）

**〔　　　〕歳児　　〔　　　〕月〔　　　〕日**

**場面〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕**

（※「評価シート２０２０」は下記の研究をもとに例示として作成したものである）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **＜エピソード記録を書く＞**  **※幼児の姿・教師の指導・環境等を書く**  **※「これは大事な姿かもしれない」と思った姿に下線を引き，＜幼児の体験を捉える＞の欄に向けて矢印を付ける** | **＜幼児の体験を捉える＞**  **※エピソード記録の下線について『幼児の体験の捉え2020』を見て，「下線部分の姿は，こういう体験をしていたと思う」箇所を選んで記入する** | **＜教師の指導について評価する＞**  **※『評価表2020』を見て，「自分はこうしたかった」に該当する箇所を選んで記入する**  **※エピソードを記録する際，〇こんな指導ができた／●こんな指導ができなかった・したかった　を書く** | **＜気付きや改善点を考える＞**  **※『評価表2020』を見ながら，「これもあてはまるかも！」「こっちだったかもしれない…」と考え、『評価表2020』中の該当する箇所を選んで記入する**  **※明日や次の機会に具体的にすることを考えて書く** |
|  |  |  | 【Cb】イメージを広げられるように，様々な素材・材料・遊具を使えるようにし，その子なりの表現を受け止める。 |
| **「評価表2020」「評価シート2020」は、平成21年度文部科学省委託事業「幼児教育の改善・充実調査研究」幼稚園における教育課程上の諸課題に対応した実践的調査研究『協同して遊ぶことに関する指導の在り方』，平成26年度文部科学省委託事業「幼児教育の改善・充実調査研究」体験の多様性と関連性，協同性を育む指導の在り方に関する調査研究『多様性と関連性のある体験を通して幼児期の学びを深める実践研究』，平成27年度文部科学省委託事業「幼児教育の質の向上に係る推進体制等の構築モデル研究」『幼児期の非認知的な能力の発達をとらえる研究ー感性・表現の視点からー』,『幼児の科学的思考を支える非認知的能力の発達的様相ー好奇心・やり抜く力・協同的感性の視点からー』の４つの先行研究を基に作成したものである。** | | | |